

コンクリート製品の経年劣化の代表例

(1) インターロッキング舗装

近年、安価でしゃれているということから、エクステリア工事で施工されることの多いインターロッキングですが、下地にクッション砂だけを使っているという性質上、使用する頻度の高い場所が沈んだり、目地の間から雑草が生えてくるという欠点があります。

(2) ブロック積みやレンガ積み

施工後、しばらくすると、目地の部分から、白い粉のようなものが広がってきます。

これは、モルタルの中の水に溶けたアルカリ成分が乾いて、白い結晶として残るため起こる現象で、白華（はっか）と呼ばれています。

特に冬に起きることの多い現象です。（詳しくは次章を参照）

(3) コンクリート舗装

コンクリートは気温・湿度の変化などによって、絶え間なく伸縮を繰り返しています。

それによって引き起こされる現象が「クラック」です。

古い舗装によく見かける髪の毛のように細いひび割れのこと、これを極力抑えるために、伸縮目地を一定の範囲で設けていますが、それでもどうしても起こってしまいます。